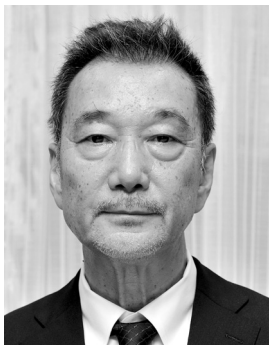


極端気象…異常気象と地球温暖化

東京大学大気海洋研究所教授 木本昌秀

- *1000人以上が熱中症で死亡する時代
- *台風21号で東日本大震災並みの保険金支払い
- *異常ではなく極端気象と表現する理由
- *地球温暖化との因果関係
- *なぜ地球は温暖化したか
- *21世紀中にゼロエミッションを実現出来るか
- *達成にはイノベーションが不可欠
- *ゲリラ豪雨が増える根拠
- *早期の予測で早期の避難が必要
- *10万年スケールの寒冷化と現在の温暖化は別次元の話



柴生田 それでは開会いたします。（拍手）

今日は何人かの会員の方からの要望もあり、異常気象、地球温暖化について専門家の方においでいただきました。木本先生は京都大学の地球物理学科をご卒業後、気象庁に入られ、その後、UCLAで博士号を取得され、気象庁の研究所の主任研究官をなさった後、現在、東京大学大気海洋研究所で教授をされておられます。

そもそもゲリラ豪雨や異常気象がどこから起きているのかとか、パリ協定の話もいろいろ出ておりますが、地球温暖化がどういうことになっていて、これからどうなるか。皆さんも興味があるかと思えますので、今日はじっくり先生のお話を伺いたいと思います。それでは木本先生よろしくお願いたします。（拍手）

1000人以上が熱中症で死亡する時代

木本 ご紹介いただきましたありがとうございます。こちらに伺うのは初めてです。本日はお足元の悪い中、多数ご来場いただきましたことありがとうございます。前方のスライドは見にくい方もいらっしゃるかと思いますので、図の詳細を逐一ご説明するわけではありませんのでご安心ください。

今日は少し前まで経済界で活躍されていた先輩がたくさん来ておられると聞いております。もちろん気象や防災のお話をいたしますけれども、できれば若い人にちゃんとやらなければダメだと言っていただけのようなお話をしたいと思っております。